

経済政策を理解する意義

山田 知明

明治大学 商学部

経済政策を理解する意義

- 全ての人々が幸せになる経済政策はあるのか？
 - 大前提：そういった政策を探し求めることは大事
 - 見つかったら「実行あるのみ！」
 - そんなものが簡単に見つかるのであれば「授業で話していないで早く実行すればよい」になる
 - 多くのケースでそういった政策は簡単にはみつからない(そもそも存在しないかも)
 - 全ての人々が幸せになるなら、意見の対立は生じない(はず)
- 残念ながらそうではない問題が多々ある
 - 例：社会保障における世代間の負担
 - 多くの政策では受益と負担のバランスを考える必要あり

経済政策を考える上で重要な軸・視点の例

1. 市場か、それとも政府か (経済政策論 A & B)
 - 市場による資源配分機能の有効性と限界を理解する
2. 短期的な視点と長期的な視点 (経済政策論 A & B)
 - 景気対策か、成長戦略か
 - 両方が必要ではあるが、手段と効き目が違うので、両方を理解する必要がある
3. 効率性と公平性：所得再分配機能 (経済政策論 B)
 - 誰に負担をしてもらうのか？
 - 経済格差の拡大
4. 異時点間の資源配分 (経済政策論 A & B)
 - 政策の効果は静的 (Static) ではなく動的 (Dynamic) に理解する必要がある
 - 世代間の不平等：昔と比べて今の人達は損をしている？
⇒ 少子高齢化と社会保障制度

市場の失敗

- 基本的な疑問
 - なぜ政府はマーケットに (当然のごとく) 介入してくるのか？
 - なぜ政府がマーケットに介入する事が問題視されるのか？

市場の役割：大原則

- 消費者：自らの利益を追求する
- 企業：同じく自らの利潤を追求する
- 神の見えざる手 (価格メカニズム) が最適な状態に導いてくれる
- 経済学は「配分」を考える学問

市場の失敗 (続き)

- 市場の失敗の例
 1. 外部性：市場を通じないで経済に影響を与える
 - 例：公害・環境問題
 2. 公共財：皆が使えて排除が困難なもの
 - 例：フリーライダー (ただ乗り)
 3. 独占・寡占
 - 例：電力会社
- 政府が補完する必要がある!
- ただし、政府が失敗する事もありうる
- この辺りに関心ある学生は[公共経済学](#)を履修してください

政府の失敗

1. 政府の目的 \neq 社会厚生 of 最大化

- 政府・官僚も自分の利益 (レント) を追求
- 経済理論の観点から「最適」な政策が必ずしも実行されない
- 政府の失敗：制度の悪用や不正・腐敗をどのように防ぐか
 - 制度設計・メカニズムデザイン

2. 政府が何もかもコントロールできるわけではない

- 人々は必ずしも政府の思うとおりに行動しない
- 政府の役割と市場の役割の線引きをどこですか？

マクロ経済の安定化

短期 (Short-run)

- 景気の状態を微調整 (ファインチューニング)
 - 例：アベノミクス第1の矢&第2の矢
 - 経済の舵取り：いわゆる"景気対策"
- 財政政策
 - 財政支出拡大で景気を刺激・回復 (ケインズ政策)
 - 総需要管理政策
 - 国の借金が増えていく...
 - 累積債務と財政の維持可能性
 - そもそもどこまで借入が可能なのか：専門家でも意見が分かれる
 - 消費税増税、歳出削減、インフレ政策 etc.

マクロ経済の安定化 (続き)

- 金融政策

- インフレ・デフレをコントロールして物価を安定
- 具体的に何をしているのか？
 - 政策金利/マネーサプライをコントロール
 - 植田総裁：マイナス金利政策を解除
- 金融システムの安定化・監視
 - BIS 規制

- 財政・金融政策に関する最近の議論

1. 質的・量的緩和政策とゼロ金利の解除
2. 景気対策、特に財政政策は効いてるのか？
3. そもそも何をやっていた？
 - 人々の予想や期待に働きかける政策

経済成長・経済発展

注意：経済政策論 B の内容です

長期 (Long-run)

- 「何故、我々はこんなに豊かで、彼らはそのように貧しいのか (Why some are so rich and some so poor) ?」
 1. 「体重を増やさないことに多額の金を費やす国」
 2. 「生きるために食べる国」
 3. 「次の食事がどこで手に入るかもわからない国」
 - D.S. ランデス (2000) 『強国論』 三笠書房

経済成長・経済発展 (続き)

- 経済成長のエンジンはなにか？
 - 資本：貯蓄と投資
 - 人的資本：教育
 - 生産性：技術革新
- 経済成長を高めるための政策
 - インフラ整備、教育、R&D 投資、特許 etc.
 - 民主主義、投票制度、財産権 etc.
- 社会保障制度
 - 少子高齢社会：公的年金、健康保険、介護保険 etc
 - 少子化対策は有効なのか？
 - 家族の経済学：結婚、出産、育児 etc.
- 短期と長期の両面から経済政策を考える

所得再分配政策：効率性と公平性

- 小さな政府か大きな政府か？
 - 小さな政府：夜警国家
 - 大きな政府：福祉国家
- 効率性
 - 経済学の目的は希少な資源の最適配分 by L.Robbins
- 公平性
 - 経済政策が持つ所得再分配機能
 - 例：累進所得税、公的年金、健康保険、生活保護 etc.
 - 世代間の公平性は保証されていない
- 経済格差拡大への不安は増加する一方
 - 大不況 (the Great Recession) 以降のアメリカ経済
 - トマ・ピケティ 『21 世紀の資本』： $r > g$

さらなる学習のため本：参考文献

- トマ・ピケティ 『21世紀の資本』 みすず書房
- デビッド・S・ランデス 『強国論』 三笠書房
- ジョン・マクミラン 『新版 市場を創る』 慶応義塾大学出版会
- ラグラム・ラジャン/ルイジ・ジンガレス 『セイヴィング・キャピタリズム』 慶応義塾大学出版会